

原子炉棟ホットラボラトリにおける保管廃棄設備の新設について

京都大学複合原子力科学研究所

2021年9月14日

京都大学複合原子力科学研究所では、近い将来 α 核種の保管廃棄設備が不足する恐れがあることから、新たに原子炉棟ホットラボラトリ内に α 廃棄物用の保管廃棄室を設置することを計画している。原子炉棟ホットラボラトリは、約500核種の非密封RIを使用できる非密封、密封のRI使用施設である。同ホットラボラトリの事業所内の位置を図1に示す。今回の変更申請の概要を以下に示す。

- ・ホットラボラトリ地階の現在、放射性同位元素使用室(作業室)として使用されているホットケーブル地下実験室を改修し、保管廃棄設備(名称:「ホットケーブル地下保管廃棄室」)とする。同地下実験室の位置を図2に示す。
- ・ホットケーブル地下実験室の使用数量がなくなることから、原子炉棟貯蔵室の貯蔵能力を変更する(全年間使用数量を基にして貯蔵能力を決定しているため)。
- ・ホットケーブル地下保管廃棄室は、外部と区画された構造であり、入口扉を施錠する(施行規則第14条の11第1項)。
- ・同保管廃棄室には保管廃棄容器として、XXXXXXXXXXドラム缶(XXXXXXXXXX)をXXXXXXXXXX本まで設置できる設計とする。

以上

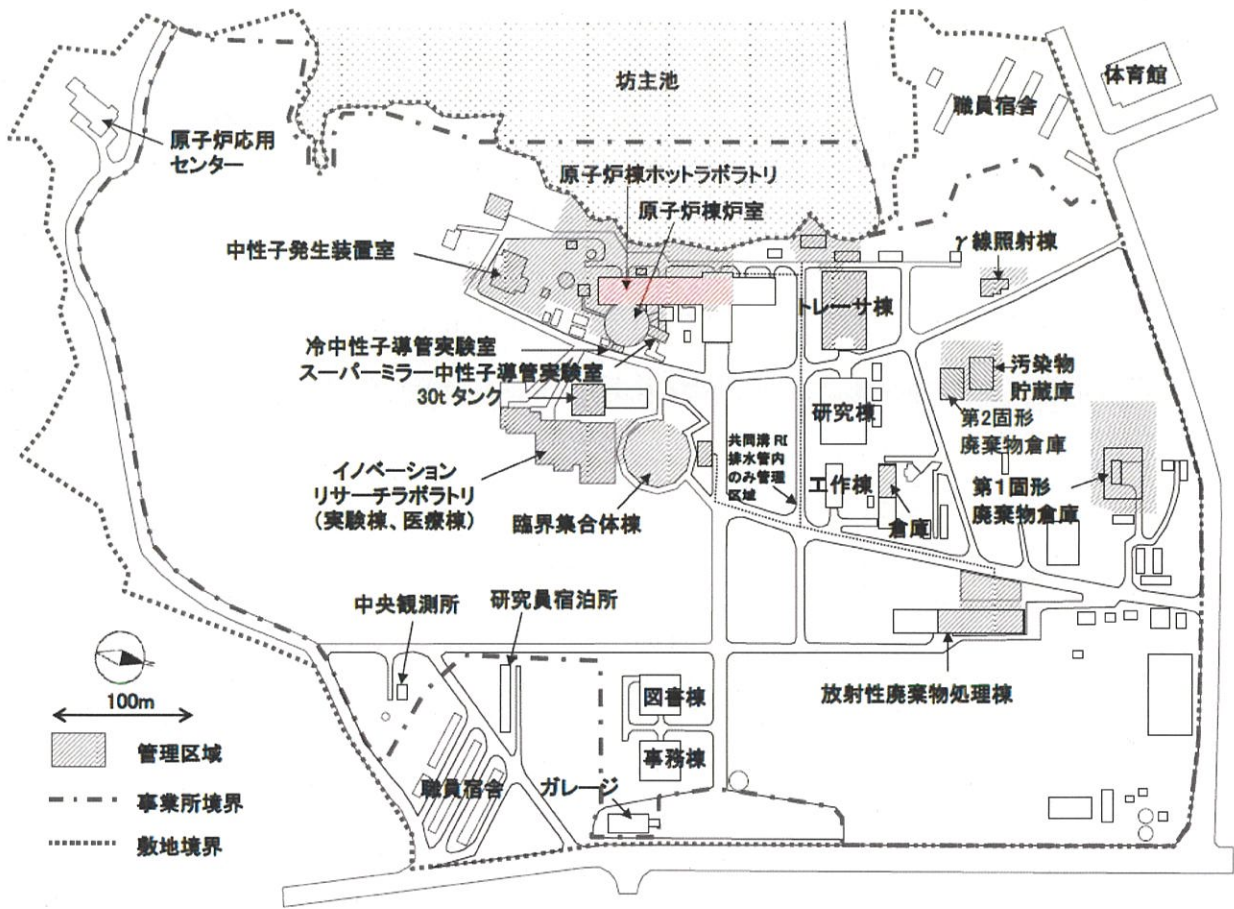


図1 京都大学複合原子力科学研究所 事業所全体図



図2 原子炉棟ホットラボラトリおよびホットケーブル地下実験室